



## 文化祭を開催しました！！

台風で日程が変更になりましたが、10月2日（火）、無事に文化祭を開催することができました。平日の開催となり、時間も短縮されたこともあって、来場者は例年より少なかったのですが、時間をかけて準備してきた成果をみなさんに見ていただく良い機会となりました。

体育館でのオープニングセレモニーでは、能勢の高校を応援する会会長のご挨拶からはじまり、SGH 実態調査の発表、続いてダンス部、軽音楽部のパフォーマンスで盛り上がりました。その後、農場の農産物展示・販売、書道部、美術部、華道部の展示を行いました。この中にはタイからの留学生カオファンが日本文化に挑戦した力作もありました。ゲームコーナーやお化け屋敷、恒例のモンゴル羊毛を使った羊マスコット作りを行いました。

来場者のみなさま、関係者の方々、多くのご支援・ご協力ありがとうございました！



## 本校・分校・地方をつなぐ！ “スムーズスペース”を導入!!

今年、能勢高校に遠隔ネットシステム『スムーズスペース』が新たに導入されました！これを利用すると、離れた空間と空間をつなぎ、距離を越えたコミュニケーションを実現することができます。

9月8日（土）、この“スムーズスペース”を使用して、能勢高校生が豊中高校文化祭に参加し、1年生は豊中高校2年生とプレゼンテーションの交流を行いました。このシステムの利点を活用し、お

互いの発表について質疑応答を行い、有意義な交流会となりました。また、農場生産物「ぶどうジャム」「黒米」のチャリティー販売を行い、豊中高校の保護者のみなさまにご購入いただきました。この売り上げは、モンゴルの子ども保護施設に寄付します。

これからも豊中高校と能勢分校の遠隔授業や、他府県との交流活動に大いに役立てていきます。



## 能勢中学2年生が能勢分校に体験入学しました！

9月14日（金）、能勢中学校2年生62名が能勢分校の体験入学会に参加しました。“スムーズスペース”を見学中には豊中高校と通信につながり、生まれて初めて遠隔ネットシステムを間近に体験した生徒たちから驚きの歓声が上がりました。

授業では、「探求」「対人支援」「地域活性」「食農流通」と4講座に分かれて授業を体験しました。初めての体験授業に緊張した様子でしたが、次第に先生方の話引きこまれ、高校生活を垣間見ることのできた貴重な体験となりました。



## 河川美化活動に参加しました！！



9月23日（日）に行われた能勢町の河川美化活動に、本校生徒14名が参加しました。能勢ライオンズクラブや観光協会など、関係する様々な団体やボランティアの方々と一緒に、分担された区域の河川のプラスチックや金属など、自然に返らないゴミを中心に回収しました。今年は豪雨や台風などの災害が多くあり、例年になくゴミの多さに驚きました。みんなで力を合わせ、汗を流して活動しました。

## 親と子の食農体験学習をしました

能勢高校生徒が、JA大阪北部と共催で、親と子どもの食農体験学習を、本校農場で行いました。秋晴れの中、20名の親子の参加がありました。開会式から生徒が司会し、それぞれの活動の説明をした後、作業をスタートしました。午前中のブドウ収穫では、一人一房収穫し味見をしたあと、それをパック詰めしました。午後のハチミツしぼり体験では、巣箱を見学し、蜜蓋をはがして遠心分離器にかけ、ハチミツを絞りだしました。その後、瓶詰して作業は終了しました。



みなさんに楽しんでもらい、本校農場での充実した秋の一日となりました。



## SGH(スーパーグローバルハイスクール)



モンゴル・鳥取へ実態調査に行ってきました！！



スーパーグローバルスタディ (SGS) を受講する2年生8名が8月4日(土)から7日間モンゴルへ、4名が8月20日(月)から4日間鳥取県へそれぞれ実態調査に行きました。

モンゴルでは今回の研究テーマ、『貧困とストリートチルドレン』について調べるため、ウランバートルのNGO施設を訪れ、モンゴルの子どもたちに糸紡ぎを教えたり、課題研究や能勢町についてを英語でプレゼンテーションを行いました。モンゴルの大草原では美しい星空の下、ゲルで宿泊しました。

鳥取では、鳥取砂丘 砂の美術館、工芸の郷、水木しげるロードを訪れ、鳥取県庁ではお忙しい知事と直接会ってお話を伺うことができました。今回の調査で得たことをこれからさらに深め、来年2月の最終発表会につないでいきたいと思ひます。



### ▶ 3年SG 基礎知識講座 9月6日(木) 「旅が教えてくれること」

講師：三上 順子さん (「みちくさ」オーナー)

能勢町にある農業体験宿泊施設オーナーの三上さんは、能勢にたどり着くまで世界中のさまざまな場所を旅してきました。その旅の経験が人生にどう活かされていったかをお話しいただきました。



### ▶ 2年SG 基礎知識講座 9月6日(火) 「先輩は語る」

先輩：SGH1期生 小路昌秀さん、山田寛さん、2期生 大城桜子さん



能勢高校の卒業生3名が、能勢高校での学校生活や経験を振り返り、在学中に何をすべきかを話しました。また、高校時代のSGHの話、現在の進学先での活動、将来の希望などを熱く語ってくれました。

### ▶ 2年SG 重点分野講座

9月20日(木) 「2030 SDGsカードゲーム」

講師：NPO法人「箕面こどもの森学園」校長 藤田 美保さん

SDGsを分かりやすくカードゲームにし、それを利用して、持続可能なまちづくりにSDGsをどう活かせるかを学びました。自分の利益ばかりではよりよい世界にはならないなど、多くの気づきがありました。



## 公開講座 持続可能な地域づくり



2015年に国連でSDGs(持続可能な開発目標)が採択されました。今回、能勢高校と町が連携し、地域にとっての持続可能性を探ります！

### ▶ 1年GS 課題探求基礎講座

📅 10月29日(月) 「SDGs×地方創生」 講師：榎原 友樹さん

・時間：13:10~15:00

・場所：能勢高校 本館2階生物教室

(株イー・コンザルの榎原代表取締役は環境省「地方公共団体実行計画(区域施策編)策定マニュアルに関する検討会」、「地域再省蓄エネサービスイノベーション促進委員会」の委員にも就任されています。今回、「SDGs×地方創生」と題し、講演とワークショップを行います。

📅 11月8日(木) 「日本版シュタットベルケ」 講師：磯部 達さん

・時間：13:10~15:00

・場所：能勢高校 本館2階生物教室

みやまSE(スマートエネルギー)の磯部代表取締役をお迎えし、日本版シュタットベルケのパイオニアとして知られる福岡県みやま市の事例を中心に、講演とワークショップを行います。

### ▶ 2年SG 重点分野講座

📅 11月20日(火) 「能勢の福祉の現状」 講師：山野 則子さん

・時間：15:30~17:30

・場所：能勢高校 本館2階生物教室

大阪府立大学の山野教授をお迎えし、「能勢の福祉の現状~コミュニティを地域活性化に活かす」と題して講演とワークショップを行っていただきます。

上記の講座はどなたでも受講いただけます！！

## マレーシアから留学生が来ています♪



能勢分校に、10月6日、1ヶ月滞在の短期留学生が来ました。マレーシア北東部にある、クアラトレガン市出身の17歳、チャー・シンインです。イングリッシュネームは、セリーナです。英語、マレー語、中国語を話します。長期留学中のタイ留学生、カオファンと同じくアニメ「ワンピース」が大好きで、そのおかげで日本語も話せるようになったそうです。日本語の勉強や新しいことを学ぶことをとても楽しんで



います。能勢高校では1年生のクラスに加わり、一緒に授業を受けています。

「不安もありますが、クラスメイトや先生と同じ時間を過ごす中で、いろいろなことを学びたいです。よろしくお願ひします！」

